

大熱戦!ふれあい運動会

ホームでは11月26日(土)に年に一度の大一番“ふれあい運動会”を開催しております。玉入れや障害物競走、物渡しリレーなどで勝負を決しました。普段は穏やかなしいちゃん・ぼあちゃんもこの日は負けず嫌いが顔を出し、悲願の優勝におけ力を合わせていました。結果は三年ぶりの白組の勝利！日頃の倶楽部活動などで鍛えていた甲斐がありました。紅組の皆さん、よほど残念だったのか「次はいつだ！」と早速闘志をみなぎらせていました。



守礼の里だより

平成23年

12月号

＝発行者＝
施設長
島袋勝徳

カジマヤー・トローカチ合同祝い

守礼の里では十月のうちにかないユニットに続き、十一月は古謝マカトさん・大城オツさん・川田茂夫さんのカジマヤー・トローカチユニット合同祝い、又、次週にはういずんユニット単独の前田敏子さんのカジマヤーのお祝いを催しました。

色鮮やかな衣装をまとい、館内をパレード。入居者からの紙吹雪とお祝いの言葉の嵐。祝賀会場に場所を移してからは各ご家族ご親戚の皆さんの余興などで長寿をお祝いしました。

今年も、様々な暗いニュースが続くなか、「家族」「絆」について今一度考える一年となりました。家族・親戚・子や孫が一同に集まり、喜びを分かち合えることが何よりの幸せだということを経験するひとときとなりました。



いろいろなユニットだより

年末・年始の予定は？

今年も残りわずかになりました。ユニットの職員の間でも年末に向けての話がよく話題にあがります。

年末年始はもっぱら家族回らんを大切にしながら、家族と過ごした翌日は実家にも戻り二度千キンなどの馳走を楽しむ方、クリスマスはデザートで忙しいような青年、イベントには田もくれずボーナスのこと頭がいっぱいの方などそれぞれ楽しみがあるようです。

ユニットの入居者で最年少七十四歳の宮

城春子さんに想い出を尋ねてみると、中身汁・天ぷら・そばなど沢山の馳走を準備して、大好きなお父さんや子供たちと過ごしたことがとても思い出に残っているそうです。

年末年始はそれぞれウキウキ・せかせかしているかと思いますが、暴飲暴食・体調管理には十分に気をつけ、元気にい

ましましょう！



いろいろなユニットだより

いろいろなユニットでは十一月に九十四歳の誕生日を迎えられた大城ハル子さんを誘ってドライブに行きました。ハル子さんからは「たまのドライブだから遠出したいな」との希望があったので、沖縄市・うるま市・勝連などを巡りました。

途中、「軽くおやつも食べたいね」と希望もあったので、うるま市で評判の丸一食品のいなりと千キンを購入。

近くの県総合運動公園の芝生で涼しい風に当たりにながら食べるおやつはお腹も心も満腹でした。



うりずん・わかちユニットだより

冬の一大イベント

近頃は、風も冷たくなり冬のおいができてきましたが皆さんどうお過ごしですか？今年もまた僕にとって一大イベントの日が近づいてきました。それは、クリスマスでもなく正月でもない…介護福祉士の国家資格の試験です。

今回で五回目のチャレンジとなります。以前もユニットだよりにて「今回は受かります」と宣言させていたのですが、見事に不合格でした…。



「今年」は絶対受かります……！
とこの事で、十一月に僕を見かけたよ」試験とくだったよ」と尋ねてみて下さい。さっさと笑顔で「合格しました」と答えるのでしょ。でも一月に向けてこれから毎日勉強です。



(うりずんユニットサントリーリーダー 宮城和史)

かりゆし・ゆがふユニットだより

愛しのペンクちゃん

こんにちは、ゆがふユニットの上江洲です。過去のユニットだよりでは私がいかにペンク色が好きかについて述べさせていただいておりましたが、今回は愛猫の話。

愛猫の名前は「ペンク」ちゃん(雄)です。飼い始めて一年が過ぎました。大人しくて寂しがり屋で甘えん坊でとてもかわいいです。周りからは「猫の名前までペンクなんだね」と笑われています。

当初は屋内で飼っておりましたが諸事情があり外で飼うことに。すると十月のある日急に姿が見えなくなり心配していたら、二三日後傷だらけの姿で戻ってきました。右手の腕から手首にかけて毛が剥がれ、皮膚も見えている状態でした。

すぐに動物病院に連れて行きましたが、鳴き声を

あげる元気もない状態でした。獣医さんからは「他の猫にやられてショック状態なので予断を許さない状態」と説明を受け、点滴と抗生剤の注射をしてその日は帰りました。翌日から慣れた環境に安心したのか少しずつ餌も食べるようになり、懸命の看病の甲斐もあり、傷の具合もすっかり良くなりました。

大事な「クちゃん、二度と怖い思いをさせないよう」にしっかりと面倒みたいと思います。



すっかり元気になりました！

(ゆがふユニット 上江洲和美)

ゆがふユニットお出かけ企画

ゆがふユニットでは十月下旬～十一月にかけて、地域の催しやグルメの旅に出かけてきました。

まずはじめは十月二十二、二十三日に行われた「西原まつり」。西原高校のマーチングバンドや青年会のエイサーなど見どころ盛りだくさんでしたが、なんとと言っても一番楽しんだのは出店のおつまみでした。今年はホームの夏祭りが中止だったため遅れてきたお祭りの雰囲気を楽しみました。

次に十月に誕生日を迎えられた池原芳子さんを誘って出身地の首里をドライブ。首里城などの見学の他、「まんじゅうで有名な儀保ま

んじゅうでほしいの休憩。地元の味を堪能しました。

最後は、入居者の城間幾さんのご家族が南城市にて琉球カフェ「かほさ」というお店をオープンしたとこのことでオープン記念に招待を受け、幾さんをはじめ数名でカフェを訪問。沖縄の家庭の味に舌鼓を打ちました。



マリー子さんお疲れさまでした。

かりゆしユニットの介護員、泉川マサ子さんが定年を迎えられ、十一月九日に最終勤務日を終えられました。守礼の里の開所当初からのメンバーで約三十年、老人ホームやデイサービスでの発展に尽力されてきました。

これまでの豊富な知恵と



経験で若手介護員に様々な事を教えていただきました。引き継いだ、想いを大切に頑張ってください。

六十歳はまだまだ通過点、お身体を大事に、時々ホームにも遊びにも来てくださいね！

アクティブ委員会活動報告

十月、十一月のアクティブ委員会の活動をご紹介します。

まずはじめは「ユニットツアー」。今月に行きます」という企画。「この日は居室移動などによりユニットが分かれ疎遠になってしまった方の顔を見に行ったり、入所したばかりのため他のユニットの様子をみてみたいという方を伴って各ユニットを巡るというツアーです。「あいつ！あんたまだ生きていたんだね！」ときつい冗談も言いながらも久しぶりの再会に手を取り喜ばれていました。



続いての企画は「SPR&かまう合同倶楽部」です。十一月は運動会の月ということもあり、昨年のたいそう倶楽部の活動を引き継いでいる「SPR倶楽部」による運動会で行われる種目の予行演習と、何より勝利のためには、声か大事ということで「かまう倶楽部」による運動会の唄の練習を行いました。